

背景・目的

市内の6~7月どり以降の作型で使用している‘UC-055’の種子の供給が令和6年で停止されることから、代替品種の選定を目的として7月定植と9月定植の2作期について品種比較試験を実施しました。



結果

<栽培条件>

- 試験作期：作期1（播種 6/14, 定植 7/2, 収穫期間 7/31~8/2） ・ 栽培密度：条間 27cm, 株間 27cm, 千鳥植え
- 作期2（播種 8/18, 定植 9/3, 収穫期間 10/6~10/8） ・ 収穫基準：200g/株以上（調製後）

<作期1の主な結果> ※標準品種‘UC-055’に比べて優れている項目（ ）, 劣っている項目（ ）

品種	写真（作期1）	発芽率	草姿	作業性	抽苔	葉先枯れ	主な特徴
UC-055 (標準)		93%	立性	(標準)	(標準) 30%	60%	・市内の慣行品種 ・根腐病レースなし
UC-301		73%	開張	やや難	同等	3%	・葉先枯れが少ない ・根腐病レースあり ・草丈が伸びやすい ・外葉が開きやすく、絡みやすい
ウオームグリーングラス		100%	立性	同等	同等	67%	・草姿、作業性は標準品種と同等 ・根腐病レースあり ・高温期は葉先枯れが発生しやすい
グリーンパーク 晩抽		98%	開張	難	少	0%	・生育がやや晩生 ・抽苔、葉先枯れに強い ・根腐病レースあり ・葉柄が湾曲するため、作業時に折れやすい
極晩抽 サマーエース		96%	立性	同等	やや少	27%	・草姿、作業性は標準品種と同等 ・葉先枯れが少ない ・晩抽性に優れている ・根腐病レースなし

<推奨品種の作付け適期> : 作期1 推奨品種 : 作期2 推奨品種

時期	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
						極晩抽サマーエース			
					ウオームグリーングラス				

※作期2は全品種で抽苔や葉先枯れ等の生理障害が発生しなかったため、標準品種と同等の草姿と作業性を示した上記2品種が有望です

結果の活かし方

高温期での栽培は、生理障害に強い‘極晩抽サマーエース’が有望です。ただし、根腐病が発生しやすい圃場で使用する場合は、当該圃場で試作を行い病害の発生状況を確認する必要があります。